

鳥取・岡山両県を結ぶ高速道路ネットワーク等の整備に向けた共同アピール

鳥取・岡山両県は、古くから因幡街道や出雲街道などを介して、産業、経済や文化などあらゆる分野において深く関わりがあり、さらに山陽と山陰との物や人の交流が行われてきた。

今後、本格的な地方分権時代を迎えるにあたり、地方が自立的に発展するためには、これまでも増し広域経済圏の形成や都市間交流の促進が重要であり、広域的な交流を支える高速道路ネットワーク等の早期整備が必要不可欠である。

特に、産業振興や観光振興に向け、鳥取・岡山両県の県境を越えた交流を促進するとともに、大山隠岐国立公園や瀬戸内海国立公園などの豊かな観光資源を結ぶ地域づくりを支援するためには、交通・物流の基盤となる高速道路、地域高規格道路の整備が喫緊の重要な課題となっている。

これら整備を着実に進めつつある中、3月末をもって道路特定財源の暫定税率や地方道路整備臨時交付金制度が期限切れとなるなど道路整備はもとより地方財政全体にも多大な支障が生じており、政府・与野党は、こうした状況を早期に打開する必要がある。

ついては、鳥取・岡山両県として、次の事項について、積極的に取り組まれるよう強く要望する。

- 1 鳥取・岡山両県を結ぶ高速道路ネットワーク等の整備を国家戦略として最優先で早期に完成すること。
 - ①中国横断自動車道「姫路鳥取線」の整備促進
佐用～西粟倉間、智頭～鳥取間を一体として、公表された供用予定時期に遅れることなく早期に完成させること。
 - ②中国横断自動車道「岡山米子線」の4車線化
岡山JCT～賀陽IC間、落合JCT～蒜山IC間の4車線化を早期完成させるとともに、残る区間についても4車線化に早期に着手すること。
 - ③地域高規格道路「北条湯原道路」の整備促進
「倉吉道路」の整備促進を図るとともに、真庭市蒜山初和から真庭市蒜山下長田までを調査区間に指定すること。
- 2 渋滞解消、交通安全、防災、維持管理など、県民の安心・安全や地域の自立に不可欠な道路整備のため、地方道路整備臨時交付金制度の存続など安定的な道路整備財源を確実に保障すること。
- 3 暫定税率等の期限切れによる影響は、自治体運営の根底を揺るがすものであり、この問題について早急に結論を得るとともに、地方の歳入欠陥に対しては、国の責任において財源の補填措置を確実に講じること。

平成20年4月23日

鳥取県知事 平井伸治

岡山県知事 石井正弘